

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
株式会社カナモト 札幌営業所 倉庫様

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体				
	A	B	C	D									評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>																	
<b>Q1 室内環境</b>																	
<b>1 音環境</b>																	
1.1 騒音																	
1.2 遮音																	
1 開口部遮音性能																	
2 界壁遮音性能																	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	
1.3 吸音																	
<b>2 温熱環境</b>																	
2.1 室温制御																	
1 室温																	
2 外皮性能																	
3 ゾーン別制御性																	
2.2 湿度制御																	
2.3 空調方式																	
<b>3 光・視環境</b>																	
3.1 屋光利用																	
1 屋光率																	
2 方位別開口																	
3 屋光利用設備																	
3.2 グレア対策																	
1 屋光制御																	
2 眩り込み対策																	
3.3 照度																	
3.4 照明制御																	
<b>4 空気質環境</b>																	
4.1 発生源対策																	
1 化学汚染物質																	
2 浮遊粒子状物質																	
4.2 換気																	
1 換気量																	
2 自然換気性能																	
3 取り入れ外気への配慮																	
4.3 運用管理																	
1 CO <sub>2</sub> の監視																	
2 喫煙の制御																	
居室の換気量 126倍 自然換気有効開口面積 居室床面積1/30以上																	
<b>Q2 サービス性能</b>																	
<b>1 機能性</b>																	
1.1 機能性・使いやすさ																	
1 広さ・収納性																	
2 高度情報通信設備対応																	
3 バリアフリー計画																	
1.2 心理性・快適性																	
1 広さ感・景観																	
2 リフレッシュスペース																	
3 内装計画																	
1.3 維持管理																	
1 維持管理に配慮した設計																	
2 維持管理用機能の確保																	
3 衛生管理業務																	
<b>2 耐用性・信頼性</b>																	
2.1 耐震・免震																	
1 耐震性																	
2 免震・制振性能																	
2.2 部品・部材の耐用年数																	
1 躯体材料の耐用年数																	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	
6 主要設備機器の更新必要間隔																	
2.4 信頼性																	
1 空調・換気設備																	
2 給排水・衛生設備																	
3 電気設備																	
4 機械・配管支持方法																	
5 通信・情報設備																	
<b>3 対応性・更新性</b>																	
3.1 空間のゆとり																	
1 階高のゆとり																	
2 空間の形状・自由さ																	
3.2 荷重のゆとり																	
3.3 設備の更新性																	
1 空調配管の更新性																	
2 給排水管の更新性																	
3 電気配線の更新性																	
4 通信配線の更新性																	
5 設備機器の更新性																	
6 バックアップスペースの確保																	
階高4.3m																	

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
株式会社カナモト 札幌営業所 倉庫棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	重点評価項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.39	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			C		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	-	-	-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	A				3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					4.0	0.63	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A			BEI 非住宅 0.33 住宅(専有部) -	4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A			照明器具に高効率設備を採用	4.0	-	-	-	-
4 効率的運用					3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A				3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A				3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A				3.0	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		B			3.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			3.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					2.5	0.70	-	-	-
1 消火剤		B			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B			2.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		B			3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		B			4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮					2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		B			5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D	1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B			4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮					2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
1 騒音					3.0	0.33	-	-	-
2 振動					3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭					3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制					1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					1.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-